

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 海、山を結ぶ・里山の木の家

グループの名称 北リアス・里山の木 家ネット

直近採択グループ番号 04-0427-0062

(グループ代表者)

代表者名 村田 藤男 代表者印

代表者所属先 有限会社村田建業

代表者所在地 岩手県久慈市大川目町第6地割62番地10

代表者電話番号 0194-55-2120

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社黒沼建築設計事務所

事務局担当者名 黒沼 忠雄 印

事務局郵便番号 028-0012

事務局所在地 岩手県久慈市新井田第4地割21番地2

事務局電話番号 0194-52-2552

事務局FAX 0194-53-9750

事務局担当者E-mail anber.9@smile.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	これまで長期優良住宅への取り組み実績が無かった事業者を最優先し、更には取り組み実績の少なかった事業者を優先しつつ、その上で受注が確実視されている事業者等への配分をとするものとする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	10戸	交付申請戸数	10戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北リアス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温熱仕様については3地域仕様(2地域に該当する場合はその仕様)をもって統一する。 「里山の木」の芯柱(大黒柱)を構造的に配置する。 掃き出し開口部1ヶ所以上配置しバリアフリー対応とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	風土(ヤマセ等)に根差した、地場の木材(アカマツやスギ)等を主体的に用い造られた、地場産材多用型の「里山の木の家」づくりをもって、特徴ある街並み景観の形成を図る一助とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	ヤマセ地域の風土や伝統に照らし「木と気」にこだわった地域型住宅づくりに、以下三つの共通ルールを設定します。 ①構造的にも精神的にも住まいづくりの伝統であり、支えである、大黒柱(芯柱)のある家づくり。 ②バリアフリー化と、地域とのふれあいを大切にする、掃き出し開口部を適切に配置した家づくり。(開放性) ③夏場の冷気(偏東風)を取り入れられる「ヤマセ風土利活用」型の家づくり。(木の通の家)	◎
④①～③の背景	春から夏にかけてオホーツク海の高気圧の発達により発生する冷たい海霧を伴った偏東風「ヤマセ」風土を、住まいづくりの有り様に具現化します。 岩手県は県土の80%が森林であり、中でも沿岸エリアのヤマセ風土を好適地として生育しているアカマツを、「南部琥珀松」としてネーミングし官民一体でブランド化を推進している。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	里山の木の家づくりのコンセプトをグループ内で再確認すると共に、25年度作成した地域材活用による長期優良住宅対応型の「モデルプラン」を活用し、被災者を含めた顧客等に説得力のある説明が出来る様、グループの研修等に積極的に努めるものとする。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材に重きを置き地場の認証工場の生産する地域材(里山の木)を主とした家づくり。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: コスト管理に向け共同購入システム等も視野に検討している。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: コスト管理に向け共同購入システム等も視野に検討する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材、木材等の一括購入や管理システム導入の模索に向け、生産合理化検討委員会を設置する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 資材、木材等の一括購入や管理システム導入の模索及び職人確保への情報の共有化等グループの協力協調システムづくりの推進を図る。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関の検査基準に則り、基礎・軸組・防水に重点を置いて施工する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 30年間の維持管理計画書の交付(点検時期と項目を共有)。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 消費者に分かりやすい設計図面表記等の標準化及び見積書式の統一化を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅モデルプランの作成から、構造や積算等のシュミレーションをもってグループの資質の向上を図り、顧客への信頼を得られる様に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	瑕疵担保責任保険等への加入を必須とする。 工事請負契約締結の履行(支払い条項等)を明記し、上棟時までに受領金額は、請負額の2/3以内とする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北アス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		◎、○ 記入欄
【平成29年度対応方針】		
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
<p>主要構造材の岩手県産材の割合を50%以上、主要構造材以外の羽柄材(間柱、筋交い、垂木)の岩手県産材の割合を20%以上使用する。 南部アカマツやカラマツ、杉等を使用する。</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>一部施工グループの事業者において、すべて手刻みによる加工を行うため、地域材の共通の流れの中で製材・集成材・合板等の事業者から直接購入する場合がある。また、一部、流通事業者を介さず、地域材の調達を行う場合がある。 原木の一部において、森林管理者が管理する国有林を競争入札等により調達する場合がある。この際原木供給業者名を特定できないが、これらは明らかに地域材であり、よって地域材として活用を図る。</p>		◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	◎
<p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p>		◎
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
<p>東日本大震災の復興に資する取組</p>		◎
<p>平成28年熊本地震の復興に資する取組</p>		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 海、山を結ぶ・里山の木の家	(地域型住宅供給対象地域) 久慈市を主とした北三陸沿岸地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北リアス・里山の木 家ネット	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0427-0062	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

The infographic is divided into three main sections:

- 長期優良住宅 (Long-term Excellent Housing):** Features include '劣化対策' (Deterioration countermeasures), '維持保全計画' (Maintenance and preservation plan), '耐久性' (Durability), '75年以上かつ一つの層が40年以上' (75 years or more and one floor for 40 years or more), '居住環境' (Living environment), '外皮の高断熱化' (High thermal insulation of the exterior), and '住戸面積' (Residential area).
- 認定低炭素住宅 (Certified Low Carbon Housing):** Features include '低炭素の措置' (Low carbon measures), '市街化区域等' (Urbanized areas, etc.), '木造住宅' (Wooden house), '外皮の高断熱化' (High thermal insulation of the exterior), and '高効率設備' (High efficiency equipment) such as water-saving devices, refrigerators, washing machines, and heating systems. A bar chart shows a 10% reduction in primary energy consumption compared to a basic standard.
- ゼロ・エネルギー住宅 (Zero Energy Housing):** Features include '創エネ設備' (Renewable energy equipment) like solar panels and fuel cells, '外皮の高断熱化' (High thermal insulation of the exterior), and '高効率設備' (High efficiency equipment).

On the right, a bar chart titled 'エネルギー削減イメージ' (Energy reduction image) shows a 10% reduction in energy consumption. The chart compares '基本標準' (Basic standard) and '認定低炭素住宅' (Certified low carbon housing), with a 'DOWN' arrow indicating the reduction. A callout box points to the 'エネルギー削減量' (Energy reduction amount).

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。